

自動車技術会賞 よくいただくご質問

過去、お問合せいただいたことがあるご質問を下記の通りまとめました

1. 応募者及び推薦者について

(1) 自動車技術会 会員外でも応募は可能ですか？

→ 応募者ご本人は、本会の会員でなくてもご応募可能です。ただし推薦者は、本会の個人会員または賛助会員である必要があります。「論文賞」は、本人を推薦人とすることが可能ですが、その方は本会会員である必要があります。

(2) 推薦者について、望ましい役職等の規定はありますか？

→ 本会の個人会員または賛助会員の方ということ以外の規定はございません。賛助会員からの推薦の場合、賛助会員代表者の方のお名前をご記載いただけますと幸いです。推薦者がお決まりでしたら、その方が現在会員であるかをお調べすることも可能です。

(3) 論文賞の推薦者として、下記 2 通りのうち、どちらが望ましいということはありませんか？

1. 自動車技術会の個人会員または賛助会員を推薦人とする

2. 本人を推薦人とする

→ 上記どちらの場合でも、選考における違いは一切ございません。

(4) 自社の所属先内に、推薦人として必須の自動車技術会の会員がいません。新しく会員になる場合、入会期限はありますか？

→ ご入会いただく場合は募集期間中（11 月中）に入会手続きをお取りください。

入会手続き中には会員番号がまだ発行されませんので、応募書類の中では、会員番号の入力欄は 0000000（0 を 7 個）とご入力ください。

<入会について> <https://www.jsae.or.jp/mbs/membership/>

(5) 自社の所属先内に推薦人として必須の自動車技術会の会員がいません。賛助会員である他社から了解を取れた場合、他社に推薦してもらうことは可能ですか？

→ 共著者/共同開発者の所属先が賛助会員の場合は、推薦ができます。そうでない場合、今回の応募に関連のない賛助会員の他社からの推薦はできません。

2. 共同受賞候補者について（論文賞および技術開発賞）

(1) 論文賞は 4 名まで共同受賞候補者とできるとありますが、それは主要著者を含めて 4 名、それとも主要著者「以外に」4 名でしょうか？（つまり 5 名）。また、ここから数名増員して申請することは可能ですか？

自動車技術会賞 よくいただくご質問

過去、お問合せいただいたことがあるご質問を下記の通りまとめました

→ 主著者 1 名+共著者 4 名の合計 5 名以内で、それ以上の増員はできません。

(2) 論文賞で、該当論文の発刊時には登録されていない人を今回、共著者として応募することはできますか？

→ 論文集の発刊時に登録されていない共著者を追加することはできません。共著者は論文に氏名の記載のある方(4 名以内)でお願いいたします。

3. 論文賞について

(1) 応募要項に記載の「本会主催・共催の国際会議の Proceedings に論文を発表した個人」について、対象の国際会議はどの会議ですか？

→ 下記の URL に掲載の国際会議が対象です。

<国際会議> <https://www.jsae.or.jp/assoc/event/inter-congresses/>

ただし、【FISITA と APAC】については**日本開催 (JSAE 主催) の会議のみが対象**です。

国際会議が対象かどうか確認することも可能です、お問い合わせください。

(2) 応募要項に記載の「本会主催・共催の国際会議の Proceedings に論文を発表した個人」について、SAE World Congress は対象ですか？

→ **SAE World Congress は本会の主催・共催ではないため、応募の対象外**です。「関連論文 (3 編以下) 」としてのご提出は可能です。

(3) 推薦者と受賞候補者が同一 (自薦) です。Excel の推薦書には推薦者・受賞候補者のどちらに自身の情報を入力しますか。また推薦理由にはどのように記載するのがよいでしょうか？

→ 推薦者欄、受賞候補者欄、どちらにも、ご自身の情報を空欄にせずご記載ください。推薦理由につきましては、自薦理由(アピールポイント)をご記載ください。

(4) 論文発表時と現在の所属が異なる場合、推薦書にどのように記載すればよいですか？

→ 「論文投稿時」の所属でご記載ください。授賞が決まった場合、公表内容としましては原則「元 XXX 株式会社 (論文投稿時の所属名) 」と掲載させていただく予定です。

(5) 2 件の論文について、論文名は異なりますが、内容的には続報となる論文です。応募要項では 1 報、2 報とまとめて応募ができますが、逆にそれぞれ別に応募することは可能でしょうか？

→ . 主題が異なる論文については別々にご応募いただけます。

自動車技術会賞 よくいただくご質問

過去、お問合せいただいたことがあるご質問を下記の通りまとめました

3. 論文賞について (続き)

(6) 複数年にわたって発表した、複数の論文を応募する場合について、下記のような場合はどのようにすればよいですか？

① 発刊済みの論文集に掲載された論文。募集要項の対象期間内

② ①の続報として、発刊予定の論文集に掲載された論文。本年は募集要項の対象期間外

③ ②の続報として、論文掲載は未確定で、過去の本会大会で発表した講演。

→ 下記のとおりのご応募方法が可能です。ご検討ください。応募論文自体が審査の対象となり、初報のみが審査対象になることはございません。その年の応募対象期間でない論文は、補足資料としてご提出ください。

(i) ①を本年の論文集に応募し、②③を補足資料として提出する。

(ii) ②を来年度の論文集に応募し、①③を補足資料として提出する。以降③も同様

(8) 第1～3報をまとめて1件として応募予定です。それぞれ主著者が異なり、第2報の筆頭著者を、今回の応募の主著者として申請します。論文賞応募書類の「推薦（申請）論文の筆頭執筆者でない者を主著者として推薦する場合の理由説明書」は必要ですか？

→ この場合は、「理由書」のご提出は不要です。

(9) 第1～3報の主著者について下記のような状況の場合、論文賞応募書類の「推薦（申請）論文の筆頭執筆者でない者を主著者として推薦する場合の理由説明書」は必要ですか？

【主著者】：第1報→A社の甲氏、第2報→社の乙氏、第3報→B社の丙氏

→ 下記のパターンがございますのでご検討ください。

(i) 第3報をメインとした場合、B社が候補者で第1～2報は補足資料とする。

(ii) 第1～3報で応募の場合、B社を候補者とする場合は理由書を提出する。

(10) すでに J-Stage 上で公開された論文ですが、自動車技術会論文集の発行が、今回の自動車技術会賞 論文賞の対象期間外です。今回の応募はできませんか。

→ 今回のご応募は【可能】です。自動車技術会論文集に先行して J-Stage 上で規定の期間内に公開されたものは対象となります。

4. 技術開発賞について

(1) 応募資格について、指定の過去3年間に必ず量産されている必要はありますか？

→ 必ずしも量産までは必要ございません。指定期間に、自動車技術の発展に役立つ新

自動車技術会賞 よくいただくご質問

過去、お問合せいただいたことがあるご質問を下記の通りまとめました

4. 技術開発賞について（続き）

製品または新技術を主開発者として開発(在来技術の改良、在来技術の複合的応用、品質の向上または生産性の向上等を含む)していることとしています。

(2) 提出書類の「評価資料」で、記載内容の具体例を提示していただけないでしょうか？

→ 具体例は公開しておりません。規定・項目の範囲内で自由にアピールください。

(3) 開発の起点はいつにしたらよいですか？

→ 何らかの形式で公表した時が起点です。各所属の基準等に沿って記載ください。

(4) 関連資料（5点以下）として、動画の提出を2点、資料として希望しています。資料数は2点としてカウントされてしまいますか。

→ 2点としてカウントします。2点の動画で主要な部分を編集して1本の動画にしていただければ1点としてカウントいたします。下記3点、お願いします。

- ① パソコンで再生可能なファイル形式にしてご提出ください。
- ② 一般的なファイル共有システム、およびメール添付が可能なファイルサイズにしてください。
- ③ 万が一、審査員が動画を再生できない状況であっても適正に審査ができるよう、評価資料内でも動画内での内容を記載いただけますと幸いです。

(5) 関連資料について、応募要項には「カタログ、特許、発表資料等5点以下」とあります。特許が複数件ある場合、まとめて1点とすることは可能ですか。

→ Excelファイル等で下記の項目例で複数件をまとめ、1点とすることが可能です。

- | | | |
|--------------|------------|-------------------|
| (1) 出願番号URL※ | (2) 出願日 | (3) 名称 |
| (4) 発明者 | (5) 特許URL※ | (6) 備考（出願ステータスなど） |

※は、下記URLから検索し、特許情報の固定リンクを貼ってください。

<特許情報プラットフォーム J-platpat> <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

5. 浅原賞について

(1) 浅原賞学術奨励賞と技術開発賞に同時応募はできますか？

→同時の応募はできません。

以上 【お問合せ】公益社団法人自動車技術会 表彰担当 友野 award@jsae.or.jp